

第2回町議会定例会

6月19日から2日間開催された第2回町議会定例会の主な内容についてお知らせします。

【一般会計補正予算】

- 経営体育成支援事業補助に係る増額補正 3,000,000円
規模拡大や農業経営の多角化に取り組むために、農業用機械の導入や施設整備をおこなう場合に国が補助するもので町を経由して交付します。(対象1件)
- 商工業新規就農者対策補助に係る増額補正 2,000,000円
新たに商工業を営む町内在住者で、就業から1年を経過したのちに補助するもの。(対象2件)
- その他の増額補正 1,600,000円

【国民健康保険特別会計補正予算】

- 国保システム改修業務委託に係る増額補正 2,205,000円

【介護保険特別会計補正予算】

- 芳生苑給湯ボイラー改修工事に係る増額補正 4,715,000円

そのほか、条例改正3本を含む議案10件、諮問1件、報告3件、発議2件について審議されました。

報告

平成24年度起業化支援事業補助金の 交付決定取り消しについて

町では、町内での産業の振興及び雇用の創出を図ることを目的に、平成19年度から「和寒町起業化支援事業」により起業する法人を支援しております。

平成24年度、農産物を利用した「キムチ製造事業」として、本支援事業としては2例目となる補助申請を受け、事業計画を審査し、3千万円の補助交付をすることを決定しました。

本年3月に施設及び設備の整備事業が完了したとの報告を受け検査を終えたところ、4月1日に申請者から「健康上の理由で事業の遂行が困難である」と事業中止の申し出があり、補助金の交付決定を取り消しました。

町としては、計画に基づいたキムチ製造事業の開始によって本町野菜が原料として使用され、新たな雇用が生まれることを期待していたところですが、所期の目的が達成できなかったことは誠に残念であります。

起業化支援事業は、本町の経済の活性化及び雇用の創出を図る上で、必要な制度であり今後も継続してまいります。他の補助制度との整合性や比較など検討を充分に行い、本制度を見直ししてまいりますことをご報告いたします。

郷土資料館整備検討委員会が発足



6月4日(火)、郷土資料館の今後の在り方について検討する整備検討委員会が公民館で開催されました。

公募を含む委員10名に委嘱状が交付され、委員長に佐藤伸二さんが就任しました。

委員から「過去を思い出し大切にすることができる資料館は必要」「子どもたちに町の歴史を残していかなければならない」などの意見がでていました。

平成27年に分村100年の節目を迎えることから、今後の整備の方向性について検討していきます。